

会 議 報 告 書

開催年月日	2010年5月23日(日) 12:00～15:00
会議の名称	第8回 予防接種委員会
開催場所	東ロステーションビル(新大阪ホテル)
出席者(敬称略)	永井崇雄、岡藤隆夫、武内 一、宮崎千明、宮田章子、 横田俊一郎、渡辺 博、藤岡雅司
会 計	支出 32,230円(会議室使用料 20,230円+昼食代 12,000円)
報告事項	
1	新委員紹介:武内 一先生、宮田章子先生、渡辺 博先生
2	日本外来小児科学会役員会からの連絡事項、決算予算報告(藤岡)
	21年決算 収入 697,888円(繰越金 81,579、21年予算 150,000、研究助成金 466,309)
	支出 641,578円(会議費 74,009、調査研究費566,309、事務費 1,260)→繰越56,310円
	22年予算 150,000円(会議費5万円、調査費10万円)を申請
3	DTaP/DT追加接種臨床試験について(永井)
	添付文書の変更及び省令変更待ちの状況
4	乾燥培養日本脳炎ワクチン(ジェービックV)の追加免疫に関する臨床試験について(永井)
	添付文書は改訂されており省令変更待ちの状況
5	第20回年次集会(田原会長、福岡)でのWSの準備状況について(岡藤)
	40名の申し込み。質問のアンケートを作成し、3グループに分けて討議、発表する。
6	進行中のリサーチテーマの進捗状況について
	1) 突発性発疹(HHV-6初感染)後のMRワクチン接種スケジュールに関する検討(吉川)
	24施設で実施中。40数検体が集まっている。
	2) 麻疹含有ワクチンの発熱率はそれほど高くない?(岡藤)
	2009年5月から調査開始、2010年5月に中間報告予定。200ペア目標。57例登録。接種延期症例が少ない。
	3) 任意接種ワクチンの同時接種の効果と副反応の検証(藤岡)
	現在まで進捗なし。BCG、DPTの調査が必要ではないか。
7	厚生労働省、小児科学会等における最近の議論(宮崎)
	①厚生労働科学審議会感染症分科会予防接種部会の再開、ファクトシートの作成
	②予防接種に関する検討会(健康局結核感染症課):自然消滅。
	③小児科学会:A型肝炎要望書、不活化ポリオ推進要望書
	④その他:9月23日、京都で予防接種システム検討会、特別講演に宮崎千明先生
協議事項	
1	予防接種部会に対するパブリックコメントについて
	混合ワクチンの早期導入などの要望を予防接種委員会として提出。役員会にて事後承諾。
2	HPVワクチン、PCV7ワクチン、新型インフルエンザワクチン等への対応について
	公費助成が広がっているが、定期接種に向けた動きも含め、状況を注視していく。
	新型インフルエンザは終息傾向があるが、状況を注視していくしかない。
3	麻疹風疹全数報告のための検査診断の実施状況について
	今後の方針についてMLでアイデアを出す。
4	次回開催日等について
	次回開催日は11月を予定。メーリングリストで検討する。→11月3日(祝)大阪に決定